

森永乳業の育児ニュース『エンゼル110番レポート96号』

「2025年 年間統計」

森永乳業は、育児における実態や意見などをまとめたレポートを、1993年4月から「エンゼル110番レポート」として発行しています。この「エンゼル110番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル110番」への相談内容から、育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル110番は1975年5月に開設され、2025年5月で50年を迎えました。

今回は2025年の年間統計をもとに、育児に関する傾向をレポートします。

【主な統計結果とトピック】

- 2025年相談件数は3,576件、1ヵ月平均は298件と減少。
1通話の平均時間は18分54秒と過去最長だった昨年からは15秒短縮。
- 減少傾向だった0～3カ月の低月齢のお子さまの相談が増加。
- パパからの相談が相談者全体の3%と20年前(2005年)の3倍に。
- 相談内容は、「相談者自身」が昨年に引き続きトップ。
- トピック:育児あるある「行き渡り」の相談について

◇エンゼル110番 電話相談運営概要◇
相談対象 妊娠中～小学校就学前まで
相談員数 12名(管理栄養士、保育士など)
ウェブサイト <https://www.angel110.jp/>

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

育児に関する無料電話相談「エンゼル110番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間:月～金曜日(土日祝日除く)、10～14時

エンゼル110番ウェブサイト

<https://www.angel110.jp/>

エンゼル 110 番レポート 96 号

今回のテーマ「2025 年 年間統計」

相談件数は減少傾向。1 件当たりの相談時間は 18 分 54 秒。

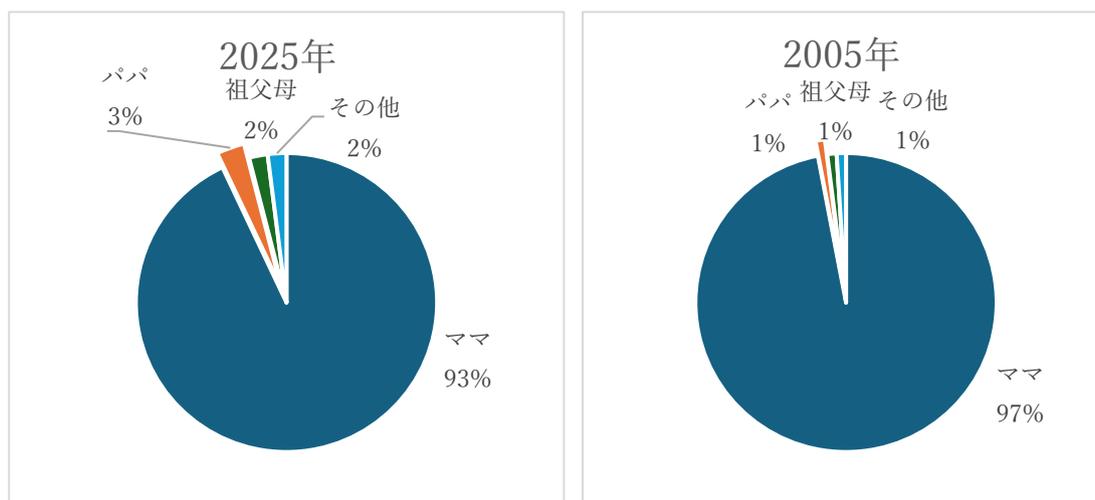
2025 年、エンゼル 110 番で受けた相談件数は 3,576 件です。

1 ヶ月平均では 298 件、1 日当たりでは 15.1 件でした。1 件当たりの相談時間は 18 分 54 秒と過去最長だった昨年からは 15 秒短縮しました。

パパからの相談は全体の 3%と年々増加

パパからの相談は 96 件と全体の 3%でした。(図 3)パパからの相談の記録を取り始めた 2005 年(1.0%)と比較すると構成比は 3 倍になっています。「園に行くのを嫌がるようになった」と継続して相談されるパパや、育児休暇中で「ミルクの量の増やし方は?」「便について知りたい」と新生児のお世話についてご質問いただく初々しいパパもいます。

図 3 相談者の属性(左 2025 年、右 2005 年) n=3,576(2025 年)



■ パパからの相談事例

- 赤ちゃんの哺乳量が少なく入院した。飲めるようになって退院したが、また飲まなくなりました。哺乳瓶に口をつけるだけで、嫌がる。妻も心配してやせてしまった。どうやったら飲む量が増えるのか方法を知りたい。(第 1 子 3 カ月 父)
- ミルクの 1 回量や 1 日の目安量はどのくらいか? 祖母は「湯ざましを飲ませないの?」と言うが、飲ませたほうがよいか? 哺乳瓶の乳首を S サイズに変えるタイミングはいつごろか? (第 1 子 16 日目 父)
- 今朝はミルクを飲むたびに便をする。機嫌や便の色、形状などはほぼいつも通りだが、回数が多いのが気になる。このまま受診せずに様子を見てもよいか? (第 1 子 3 カ月 父)
- トイレトレーニングが進まない。トイレに行くのは嫌がらないが出ない。まだできない時期なのか? (第 1 子 3 歳 7 カ月 父)
- 4 月から保育園の担任が変わり、クラスに新しい子も増えた。行き渋るわけではないが朝、暗い顔しながら

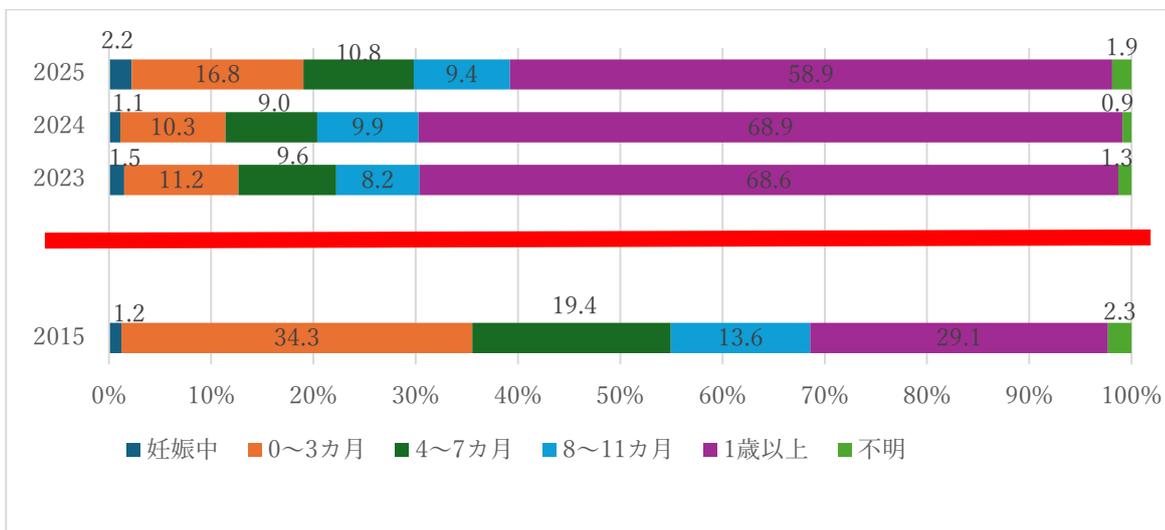
登園する。園でもおとなしくしていることが増えたらしい。(第1子 3歳5カ月 父)

- 転園して慣らし保育中。園が近づくと泣いて行きたがらない。休ませた方がいい目安が知りたい。休ませてこのまま行かなくなることが心配。(第1子 2歳10カ月 父)
- 園に連れていく自転車の後ろに乗りたがらない。毎朝のことなのですんなり乗ってくれるアドバイスが欲しい。(第1子 2歳8カ月 父)

相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が6割近く

相談対象の子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が全体の6割近くを占めています。昨年と比較して構成比が高まったのは生後0～3カ月までのお子さまです。病産院での調乳指導や栄養相談でエンゼル110番を知ったというママが多くいらっしゃいました。

図4 子どもの月齢・年齢の割合の推移(2015年、2023～2025年) n=3,576(2025年)



相談内容は「相談者自身」が28.8%を占める

相談内容は「相談者自身」が年々伸長しており今回も1位になりました。相談の入り口は一般的な悩みですが、お話を伺っていくと相談者の不安な気持ちや相談者自身が抱える悩みが隠れていることがあります。例えば、お子さんのお世話がうまくいってないというお話から始まり、お母さんの体調を伺うと、最近よく眠れていないため心の余裕がなくなっている、といった他のお悩みに気が付くことがあります。このように対話を重ねることで、ご自身の本来の悩みが顕在化することが多くあります。

相談内容トップ10ランキング

2005年から2025年の20年間で相談内容にどのような変化があったのか探るべく、10年刻みでランキングにしました。

2015年ころまではお子さまの成長や健康状態を直接感じ取れる「食」や「便」といったテーマへの関心でしたが、2025年には20年前にはランキングに入っていなかった「相談者の気持ち」が1位となる変化がありました。会話する中で改めて抱えている不安に気づくこともあるようです。

2025年の6位「自己主張・癩癩」はここ数年多く寄せられる相談内容です。最近は発達に関する情報が多くあり、癩癩が当たり前の年齢でも、もしかしたら…と不安になってご相談される方が多いのかもしれませんが。同じような傾向相談としては、2015年以降増えている「くせ・気になる行動」が挙げられます。これも、わが子とほかの

お子さまとの行動の違いを比較し、自ら調べたことで心配になり相談される方が増えたものと推測しています。

情報が増え、手軽に検索できる時代だからこそ、自ら調べて気になって第三者の意見を聞きたい、と思う相談が増えている傾向にあると感じます。

図 6 相談内容のトップ 10

順位	2025 年	2015 年	2005 年
1	相談者の気持ち	離乳食・幼児食	離乳食・幼児食
2	子どもへのかかわり方	便のこと(緑便以外)	便のこと(緑便以外)
3	離乳食・幼児食	授乳時間・リズム	授乳方法
4	集団生活・教育	哺乳量の目安	授乳時間・リズム
5	睡眠・生活リズム	睡眠・生活リズム	哺乳量の目安
6	自己主張・癩癩	相談者の気持ち	ミルク・母乳を飲まない
7	哺乳量の目安	子どもへのかかわり方	チルミル
8	くせ、気になる行動	くせ、気になる行動	E 赤ちゃん
9	授乳間隔・リズム	チルミル	皮膚
10	ミルク・母乳を飲まない	E 赤ちゃん	母乳育児

■2025 年の相談事例

【相談者の気持ちの相談】

- 言葉が出始めた。キャラクターの名前「パンパンパン」など言ってきて可愛い。が、ママに対しても「パパ」と言う。こんなにお世話しているのにどうして「ママ」って言ってくれないの？ 悲しい気持ちになる。(第 1 子 10 カ月 母)
- 子どもと 2 人きりの年末年始は休みが長すぎて地獄だった。言うことを聞かずつい怒ってしまう。アンガーマネージメントをしようとしたが無理だった。子どもと一緒にいたいけど穏やかに過ごせない。(第 1 子 6 歳 3 カ月 母)

【子どもへのかかわり方の相談】

- 上の子に注意すると「そんなことわかってるよ！」「何回も言わないで」と反抗するようになった。特にパパに対して口論になるほど激しい。成長過程なら見守ろうと思うが今の対応で適切か知りたい。(第 1 子 5 歳 1 カ月 第 2 子 1 歳 4 カ月 母)

【離乳食・幼児食の相談】

- ミルク飲むより食べるほうが好きみたい。もっと食べたくて泣くので 3 回食にしたいが時期的には 2 回食なので迷う。(第 1 子 7 カ月 母)
- 味噌汁に入っている野菜を食べなくなった。好き嫌いしないで何でも喜んで食べて欲しい。(第 1 子 2 歳 10 カ月 母)

育児あるある「行き渋り」について

今まで寄せられた相談やエンゼル 110 番の知見から「育児あるある」をご紹介します。今回のテーマは「行き渋り」です。行き渋りといえば、入園や進級などのタイミングである 4 月や夏休み・年末年始休みなど長期休暇明けを思い浮かべる方もいるかもしれませんが、相談は年間を通して寄せられています。今回はエンゼル 110 番に寄せられた「行き渋り」に関する相談内容やお子さまの傾向を紹介します。

まずは行き渋りのきっかけを月別にまとめてみました。

月	保育園・幼稚園・認定こども園のイベント	通年
4月	入園・進級・転園	引越 ママの妊娠出産 育児休業などで 下の子とママが 自宅にいる 病気の後 などがあります
5月	GW明け	
6,7月	プール	
8月	お盆休み後	
9月	夏休み明け・運動会	
10月	遠足・ハロウィン	
11月	合唱や劇の発表会	
12月	クリスマス会	
1月	お正月明け	
2,3月	年度末の発表会・卒園に向けて	

※保育園・幼稚園・認定こども園によってイベントの時期は前後します

以下はエンゼル 110 番に実際に寄せられた「行き渋り」の相談事例です。

- 2年近く今の保育園に通っている。3月末から行き渋りが出てきていて、4月に入ってから毎日行きたくない泣く。園では切り替えて過ごすこともあるようだが休園や転園を考えてしまう。(第1子 2歳8カ月 母)
- 最近保育園に入園した。園にいる間、ずっと泣いている。家で園の話をするとういたり咳き込んだり身体に不調が出るので、今は園を休んでいる。(第1子 1歳10カ月 母)
- 今まで通っていた保育園が閉園して大きな園へ行くことになったが、新しい保育園に慣れず困っている。(第1子5歳 第2子3歳 母)
- お遊戯会が近づいてきて子どもが「できなかつたらどうしよう」と泣いて行きたがらない。どう声掛けしたらよいか?(第1子 5歳2カ月 母)
- 転園したらすでに子どもの輪ができていたり、他の子から嫌なことを言われたりして、上の子に行き渋りが始まった。園と相談し園長室登園しているが、これが不登校につながらないかと心配。(第1子5歳9カ月 第2子4歳 母)
- 秋になってもまだ行き渋りが続いている。今朝は「先生嫌！」と何度も言うので休ませた。いつまで続くのだろうか。(第1子 3歳2カ月 母)

我が子の行き渋りにお困りの様子が伺えます。すぐに解決することは難しい場合がほとんどですが、これまでの相談の傾向や経験等から、GW明けごろにはおさまることが多いようですよ、とお伝えすると、先の見通しがたつて安心される方が多いようです。「一番に園に行こう！」と楽しみを見出したり、安心できるようにお守り代わりになるものを持たせてあげたり、励まして送りだしたり、と、お子さまのタイプに合わせて一緒に考えたり提案しています。

行き渋りの多くは環境の変化が関係していて、特にイベントが行われる時期はたくさんの相談が寄せられます。親の目からみたら楽しいイベントでも、お子さまにとってはいつものように自由に遊べる環境ではないようで、それが「行きたくない」につながっているのかもしれないかもしれません。まだ幼いので自分が疲れていることもわからないようです。いつもと違うな？と感じたらゆっくり過ごして様子を見るのはいかがでしょうか。行き渋りに頭を抱えるママ・パパも頑張っています。お話をしたくなったらいつでもお電話くださいね。

まとめ

近年は「電話は苦手なので相談は AI で」というあらたな流れがあるかもしれませんが、それでも電話が鳴らない日はありません。「ChatGPTで相談先を探し、エンゼル110番を覚えてもらった」「ネットの情報を信じるよりも、人に聞きたい」という方もいらっしゃいます。2025年エンゼル110番に寄せられた相談で多くを占めたのは「相談者の気持ち」「子どもへのかかわり方」でした。インターネット上では子どもへのかかわり方について多くの知見・アイデアがあふれていますが、実際にやってみても子どもが思うように動いてくれないこともあるようで、そのときに気持ちを伝える場所を探しているのかもしれませんが。子どものことが心配であちこちに相談しても「心配ない」「様子を見て」という言葉で片付けられ、相談者の「気持ち」は置き去りにされていることがあるようにも感じます。出生数が減少し、それに伴い相談件数は減っていますが、お電話くださる方の心に寄り添えるように51年目も多くの方のお話に耳を傾けていきたいと思っております。

■ お問い合わせ先

森永乳業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 渡邊

TEL 03-6281-4682 ✉ pr@morinagamilk.co.jp

コーポレートコミュニケーション部 SCグループ 大門

<森永乳業ウェブサイト>

<https://www.morinagamilk.co.jp>

<森永乳業 妊娠・育児情報サイトはぐくみ>

<https://ssl.hagukumi.ne.jp/>

<育児に関する無料電話相談窓口エンゼル110番>

<https://www.angel110.jp/>

フリーダイヤル 0800-5555-110

[時間]月～土 10:00～14:00(日曜祝日・年末年始除)

以上